

## 退任役員ご挨拶



副会長  
**渡井 恵**

2018年から3年間宮本会長のもと栃木県看護連盟副会長として活動してきました。支部への訪問では看護・介護現場での切実な問題を共有しました。2019年からは新型コロナウイルス感染症による生活、医療提供の変化により十分な活動ができませんでしたがWebによる学習や会議の開催、遠隔診療や遠隔面会など、これまでとは異なる新しい日常を手に入れました。新たな看護師の就労環境をより良いものにするためには、私たちが応援している国会議員の皆さんに政策実現を託す必要があります。そのためには看護連盟の組織の力が必要です。立場は変わりますが、今後も多くの看護職に看護連盟活動の意義を伝えていこうと思います。末筆となりますが、皆様のますますのご活躍とご繁栄を祈念いたします。



幹事  
**鈴木 美代子**

2016年から支部長・2018年から幹事（財政）に就かせていただきました。看護連盟役員・会員の皆様にはご指導・ご協力をいただき感謝申し上げます。看護連盟の活動を通して、県内外の施設の方との交流ができたこと、政策セミナー・診療報酬改定に関する勉強会等に参加することで、多くのことを学びそして楽しく活動することができました。現場の声を届けることが、政策に繋がり、看護職として働く環境をより良いものにしていくためには、看護連盟活動に対する理解を深め、そして活動を継続していくことが重要であると思います。これからも、会員として活動に参加していきます。これまで、大変お世話になりました。



栃木支部長  
**石田 龍子**

2019年4月から栃木支部支部長を務めさせていただきました。この7月は参議院選挙を控えており、責任の重圧に押し潰されそうになりながらも、「国政に看護職の代表を送れるように！」と会長をはじめ役員の方々、会員の皆様と共に活動できたことは、看護連盟への理解を深める貴重な経験となりました。感謝申し上げます。

栃木県看護連盟は、創立60周年を迎え、その歴史ある功績を誇りに感じています。これからは、看護職に寄り添い支援を続ける組織の一会員として、活動をしていきたいと思っています。ありがとうございました。



獨協支部長  
**矢口 美奈子**

2019年に獨協医科大学病院支部の支部長に就任し、会長はじめ役員・会員の方々にご指導をいただきながら活動させていただきました。2020年は長期間休職してしまい、自分ではほとんど支部長としての役割を果たすことができず、大変申し訳なく、また代わってその役割を担ってくださった方々に深く感謝いたします。短い期間でしたが支部長としてお仕事をさせていただき、看護連盟の役割の重要性を再認識しました。支部長は退任させていただきますが、今後も看護連盟会員として、看護師一人一人が看護連盟の活動やその意義を理解し、積極的に政治に参加できるよう微力ながら活動していきたいと思っています。大変お世話になり、本当にありがとうございました。